

ブロードケア

顆粒水和剤



ブロードケアは株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。

荷姿：150g×10袋/ケース

ゴルフ場

公園

緑地

などの1年生及び多年生広葉

雑草防除に使えます。



特長

1. メヒシバ発生初期処理で広葉雑草との同時防除ができる
2. 作物名:ベントグラスの登録があり、グリーン周りのメヒシバ、ヒメクグ対象にも使える

※アメリカスズメノヒエ (バヒアグラス)、メリケントキンソウにも効果があります。



適用雑草と使用方法

2023年7月1日現在

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	フルセトスルフロンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
日本芝 (こうらいしば)	—	ヒメクグ、ハマスゲ 一年生イネ科雑草	芝生育期 (雑草発生初期)	0.03~0.06g/㎡	100~200 ml/㎡	3回以内	散布	3回以内
			春夏期芝生育期 (雑草発生初期)	0.045~0.06g/㎡				
日本芝	—	一年生及び多年生広葉雑草	芝生育期 (雑草発生前~発生初期)	0.03~0.06g/㎡	100~200 ml/㎡	3回以内	散布	3回以内
西洋芝 (ベントグラス)			芝生育期 (雑草発生初期)					
西洋芝 (パーミュダグラス) 西洋芝 (ケンタッキーブルーグラス)			春夏期芝生育期 (雑草発生初期)					
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地のり面 鉄道等	一年生雑草	雑草生育初期	0.03~0.18g/㎡	100~200 ml/㎡	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草莖葉散布又は全面土壌散布	3回以内
			雑草発生前	0.045~0.18g/㎡				
		クズ	雑草生育期	0.06~0.18g/㎡				
			雑草生育初期~生育期					
			雑草生育休止期~萌芽期					

プロドゥア 顆粒水和剤 製品概要



【種類名】：フルセトスルフロン水和剤
 【有効成分】：フルセトスルフロン…50.0%
 【化学名】 1-[3-[(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イルカルバモイル)スルファモイル]-2-ピリジル]-2-フルオロプロピル=メトキシアセタート
 【物理化学的性状】：製剤の性状：類白色水和性細粒
 【人畜毒性】：急性毒性 経口/ラット ♀ LD50: >5000mg/kg
 普通物相当 注釈：「毒劇物に該当しないものを指している通称」
 【魚毒性】：コイ LC50: >199mg/L (96hr)、オオミジンコ EC50: >199mg/L(48hr)



殺草スペクトラム

日本芝：発生前処理

	供試植物	除草効果	
		0.03g/m ²	0.06g/m ²
キク科	セイタカアワダチソウ、オオアレチノギク	●	●
	ハハコグサ、ヒメジヨソ、ウラジロチチコグサ		
	ヒメムカシヨモギ、セイヨウタンポポ		
ウコギ科 (セリ目)	チドメグサ	○～◎	●
アカバナ科	コマツヨイグサ	●	●
カタバミ科	カタバミ	●	●
トウダイグサ科	コニシキソウ	●	●
ナデシコ科	ツメクサ、ノミノフスマ、ハコベ、オランダミミナグサ	●	●

日本芝：(こうらいしば) 発生初期処理

	供試植物	除草効果	
		0.03g/m ²	0.06g/m ²
カヤツリグサ科	ヒメグサ、ハマスゲ	○～◎	●
スミレ科	タチツボスミレ	○	●
	ヒナスミレ	●	●
ナデシコ科	ツメクサ、ノミノフスマ、ハコベ、オランダミミナグサ	●	●
ウコギ科 (セリ目)	チドメグサ	○～◎	●
マメ科	カラスノエンドウ	○～◎	●
	シロツメグサ	◎	●

日本芝：(こうらいしば) 発生初期処理

	供試植物	除草効果	
		0.045g/m ²	0.06g/m ²
イネ科	メヒシバ、エノコログサ	◎～●	●

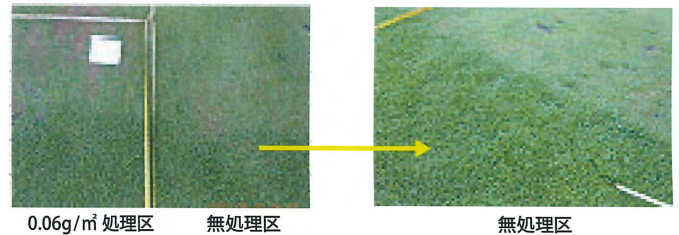
●(90%以上の除草効果)、◎(80～89%の除草効果)○(60～79%の除草効果)、△(40～59%の除草効果)、×(39%以下の除草効果)

データ収集期間は2002年～2015年

本表は委託試験成績(植調研)とSDS社内試験結果をとりまとめたものです。

試験事例紹介(メヒシバ)

1. 試験場所：ベントグリーン周りコウライシバ(埼玉県Aゴルフ場)
2. 処理日：2013年6月29日(1回目)→2013年7月31日(2回目)
3. 薬量・水量：薬量：0.06g/m² 水量：200ml/m²
4. 最終調査日：2013年8月23日(2回目処理23日後)
5. 結果：無処理区に比べ処理区のメヒシバの密度は大幅に少なく、十分な除草効果が確認できた。



⚠ 効果・薬害等の注意 (抜粋)

- 本剤は雑草の発生前から生育期に有効なので、時期を失ないように均一に散布する。
- 周辺の植物にかかる薬害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草木や花木、畑作物などに薬液がかからないようその付近での散布はさける。
- 散布に用いた器具類はよく水洗いして、他の用途に使用する時は、影響のないように注意する。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意する。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意 (抜粋)

- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布時は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをする。
- 空袋は圃場などに放置せず適切に処理する。
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。保管…直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

●使用の前にはラベルをよく読む ●ラベルの記載以外には使用しない ●本剤は小児の手の届く所には置かない

この印刷物の記載内容は2023年7月1日現在のものです。

23.7.200 CN